

NEW YORK 5大巨匠年表					
A Historical Chronicle of New York's Five Great Masters					
世界の出来事 <i>World Events</i>	草間彌生 <i>Yayoi Kusama</i>	アンディ ウォーホル <i>Andy Warhol</i>	ロイ リキテンスタイン <i>Roy Lichtenstein</i>	ジャスパー ジョーンズ <i>Jasper Johns</i>	
1928-1930年代 【経済崩壊と戦争へ】 - 世界大恐慌 (1929年) - 満州事変 (1931年) - ナチス党台頭/ ヒトラー首相就任 (1933年) - スペイン内戦 (1936年) - 第二次世界大戦開戦 (1939年)	1929 誕生 (日本・長野県松本市)	1928 誕生 (米国・ペンシルベニア州 ピッツバーグ)	1923 誕生 (米国・ニューヨーク市)	1930 誕生 (米国・ジョージア州 オーガスタ)	
	1945 16歳、第1回全信州 美術展覧会に入選。	1936 8歳、舞蹈病の聖ビタ病 (St. Vitus's Dance) にかかり、長期療養	1931 8歳、小学校1年生の頃絵を描く ことと科学に強い興味を持ち、 後に模型飛行機の設計に時間を 費やした。	1936 13歳、マンハッタンの私立学校、フ ランクリン男子校で8年生に進 級。フランス語とラテン語を学ぶ。	1947 17歳、サウスカロライナ大学 (1947-48年)、パースONS美術学 校 (1949年) で美術を学ぶ。学業 の合間に油絵やデッサンの技術 を磨いた。
	1948 19歳、京都市立美術工芸学校で 日本を学ぶ。	1945 17歳でピッツバーグのカーネ ギー工科大学 (現カーネギーメロ ン大学) に入学。	1938 15歳、カーネギーホールで ベニー・グッドマンの初コンサ ートを鑑賞。ジャズ演奏を始める。	1940 17歳、アート・ステューデント・ リーグでレジナルド・マージョ の絵画クラスに通う。オハイオ州 立大学美術学部に入学。	1949 19歳、ニューヨークに上京する。
1940年代 【第二次世界大戦】 - 真珠湾攻撃 (1941年) →太平洋戦争へ - 原爆投下 (広島・長崎、1945年) - 第二次世界大戦終結 (1945年) - 国連設立 (1945年) - インド独立 (1947年)	1945 16歳、第1回全信州 美術展覧会に入選。	1945 17歳でピッツバーグのカーネ ギー工科大学 (現カーネギーメロ ン大学) に入学。	1943 20歳〜23歳、第二次世界大戦の 為ヨーロッパ陸軍に兵役。	1944 第9軍第69歩兵師団工兵大隊 情報部で地図を描く。	1951 21歳、朝鮮戦争で陸軍に従軍する。
	1948 19歳、京都市立美術工芸学校で 日本を学ぶ。	1949 21歳時カーネギー工科大学美術 学部を卒業。卒業後ニューヨーク へ移住。雑誌「グラマー」の仕事 で商業イラストレーターとしての キャリアをスタート。	1946 23歳、陸軍を除隊し、製図工とし て一等兵 (PFC) の階級を得て ニューヨークに帰国。OSU美術 学部で講師として加わる。	1949 26歳オハイオ州立大学(OSU)で 美術修士号(MFA)を取得し、絵画 制作に専念。イザベル・ウィルソ ンと結婚する。	1952 22歳、除隊。
	1952 23歳、自身初の個展を松本で開 催。東京大学で開催された日本精 神神学会で作品が紹介される。	1950 1950-1959年広告、ファッション 誌などでイラスト制作。自動複製 の技術を使用したシンプルで洗 練された描線スタイルを確立。	1951 28歳ニューヨークのCarlebach (カールバック) 画廊で初の個展 を開催。	1954 31歳、 長男のデイヴィッド誕生。	1953 23歳、1953年にニューヨークに戻 り、マルボロ書店で働き始める。 この頃からロバート・ラウシェ ンバーグと出会い、親密なコラボ レーションを開始する。
1950年代 【冷戦と復興】 - 朝鮮戦争 (1950-1953年) - ベルリン封鎖 (1948-1949年) - スプートニク打ち上げ (1957年) - 欧米・日本で 高度経済成長 (1950年代〜)	1954 25歳、東京での初個展を開催。	1951 23歳、CBSラジオ番組の新聞広告 のために描いたイラストがアー トディレクターズクラブメダル を受賞。	1960 37歳、ニュージャージー州立大学 オズウィーゴ校を辞任し、ダグラス ・カレッジ (ニュージャージー 州立大学ラ・ガース校) の美術助 教授に就任。	1961 38歳、ラトガーズ大学在職中に、 《Look Mickey (見て！ミッキー)》 を制作。Donald Duckとミッ キーマウスを題材に、ペンディ ・ドット、太線、原色によるポップ アートのスタイルを確立。ニュー ヨークのポップアートの先駆けと なる。	1958 28歳、『Three Flags』を発表。 ニューヨークのレオ・カステリ ・ギャラリーで初の個展を開催。 出品作18点中16点が売約する大 盛況となり、MoMA館長のアルフ レッド・バルが3点を購入する など大きな注目を集めた。
	1955 26歳、アメリカの画家、ジョージ ・オキーフに手紙を書き、文通 が始まる。	1952 24歳、NYで初個展。 友人と海外旅行へ。	1962 39歳レオ・カステリ画廊 (Leo Castelli Gallery) で初の個展を開催。	1963 40歳、ダグラス・カレッジを休学。 レオ・カステリ画廊 (Leo Castelli Gallery) で2度目の個展を開催。	1959 29歳、MoMAのグループ展「16 Americans (1959年12月-1960年2 月)」に参加し、Newsweek紙は30代前 半のジョーンズを「最も影響力 のある若手画家」と評し、その才能 を高く評価した。ネオ・タダに会 う。
	1958 29歳、ニューヨークへ移住。	1960 32歳広告やコミックを題材に した絵画作品を制作開始。	1964 41歳、ダグラス・カレッジを退 職し、制作活動に専念。この頃か らセザンヌ、ピカソ、モンドリア ンなど近代絵画の巨匠の作品を 下敷きにしたパロディや、新聞 広告のような静物画へとモチ ーフを広げた。	1966 第33回ヴェネツィア・ビエンナー レにアメリカ代表として参加。	1960 30歳、数字の0〜9を重ねた “0 through 9” ドローイング・シリーズを開始。
1960年代 【変革と対立】 - キューバ危機 (1962年) - 公民権運動/ キング牧師暗殺 (1968年) - ベトナム戦争激化 (1960年代) - アポロ11号月面着陸 (1969年)	1961 フランク・ステラが 《無限の網》を購入。	1962 34歳『キャンベル・スूप缶』32 作をロサンゼルス のFerus Gallery で発表。	1966 44歳、カリフォルニア大学アー バイン校の評議員教授として 表彰される。イザベルとの離婚が 成立する。	キースヘリング <i>Keith Haring</i> 1958 誕生 (米国・ペンシルベニア州レディング)	1961 31歳、キャンバスに実物のオブ ジェを貼り付けた制作が始まり、 油彩だけでなくリトグラフや 銅版画など多彩な技法を用いた 実験が行われた。
	1962 33歳、ジョセフ・コーネルと 出会う。	1963 35歳最初のスタジオファクトリー 「The Factory」をニューヨークに 設立	1967 44歳、カリフォルニア大学アー バイン校の評議員教授として 表彰される。イザベルとの離婚が 成立する。	1968 45歳、ドロシー・ヘルツカと 結婚する。	1963 33歳、ジョン・ケージやラウシェ ンバーグらとも親交を深め、彼ら とともにニューヨーク前衛の 四人組「現代美術財団」を形成。
	1966 37歳、ヴェネチア・ビエンナーレ にて『ナルシスの庭』を発表。 (ソーシャルメッセージを持つ作 品として注目)	1964 36歳『Empire』『Sleep』 『Chelsea Girls』などの 前衛映画を制作	1968 45歳、ドロシー・ヘルツカと 結婚する。	1969 46歳、ベックリー・パーフォレー ティング社のオイルボード・ス テンシルを使い始め、ドット模様 を描き始めた。シートは金属ス クリーよりも扱いやすい。	1964 34歳、ニューヨークのユダヤ 美術館で初の回顧展。
1970年代 【経済ショックと政治】 - オイルショック (1973年) - ベトナム戦争終結 (1975年) - イラン革命 (1979年) - ソ連のアフガン侵攻 (1979年)	1968 39歳、自身が監督・主演した映 画『草間の自己消滅』を発表。 クサマ・エンタープライズを設立。	1966 38歳ヴェルヴェット・アンダー グラウンドと『The Exploding Plastic Inevitable』を実施。	1970 47歳、ロングアイランド、サウス ハンプトンに自宅兼アトリエを 構え、制作拠点を整備。	1968 37歳、マース・カニングham・ダ ンズ・カンパニーの芸術顧問に 就任し、 1980年まで活動。	1968 38歳、1968年のカニングham 振付『Walkaround Time』の舞台 美術では、デュシャンの『大ガラ ス』の要素を取り入れた装飾を担 当するなど、振付家マース・カニ ンガムとの共同制作で知られる。
	1969 40歳、ニューヨークに ファッションティックを オープンする。	1968 40歳フェミニスト活動家ヴァレ リー・ソラナスに銃撃され重傷。	1971 47歳、ロングアイランド、サウス ハンプトンに自宅兼アトリエを 構え、制作拠点を整備。	1976 18歳高校を卒業後、商業美術学 校アイビー・スクール・オブ・ブ ロフェッショナル・アートに入 学。その後2学期で退学。商業芸 術ではなく自分の表現スタイルを 追求する方向へ移行した。	1972 42歳、絵画の大作 『Untitled』を制作。
	1972 43歳、ジョセフ・コーネル死去。	1969 41歳『Interview』誌を創刊。	1971 47歳、ロングアイランド、サウス ハンプトンに自宅兼アトリエを 構え、制作拠点を整備。	1977 22歳〜27歳、ニューヨーク市地下 鉄の広告スペースに白チョーク でシンプルな線画 (放射状の赤 ん坊、吠える犬、宇宙船など) を 描き始める。	1973 43歳、アメリカ芸術院 (American Academy of Arts and Letters) 会員に選出。
1980年代 【冷戦終盤と市民運動】 - サッチャー・レーガン政権 (1980年代) - チェルノブイリ原発事故 (1986年) - ベルリンの壁崩壊 (1989年)	1973 44歳、帰国し、以降は 東京拠点を制作。	1970 1970年代：セレブ肖像画を多 数受注。 肖像ビジネスが大成功。	1971 47歳、ロングアイランド、サウス ハンプトンに自宅兼アトリエを 構え、制作拠点を整備。	1978 20歳、ピッツバーグ・アーツ・ アンド・クラフツ・センターで 個展を開催。ニューヨーク市に移 り、スクール・オブ・ビジュアル ・アーツ(SVA)に入学。	1977 45歳、ニューヨークのホイット ニー美術館で回顧展。アメリカ、 ヨーロッパ各地、日本を巡回す る。
	1975 46歳、入院。精神病院で アートセラピーを受けつつ制作。	1970 1970年代：セレブ肖像画を多 数受注。 肖像ビジネスが大成功。	1976 エンタプラチア絵画の最終 シリーズを完成。新聞に掲載さ れたオフィス用品の挿絵を基に オフィス静物画を制作。未来派 風の自画像を制作。	1980 22歳〜27歳、ニューヨーク市地下 鉄の広告スペースに白チョーク でシンプルな線画 (放射状の赤 ん坊、吠える犬、宇宙船など) を 描き始める。	1978 46歳、巡回回顧展のため、来日。
	1978 49歳、小説『マンハッタン自殺 未遂常習犯』発表。以後、小説家 としても活動	1980 1980-1984年：ジャン＝ミッシェ ル・パスキアやキース・ヘリン グと交流。パスキアとの共作多 数。	1977 バレンシアのカリフォルニア 芸術大学より美術博士号を 取得。	1981 23歳、ニューヨークでの初の個展 がウエストベス・ペインターズ・ スペース、ハル・プラム画廊、ク ラブ57にて開催。	1978 46歳、巡回回顧展のため、来日。
1990-2000年代 【グローバル化の進展と転換】 - ソ連崩壊／冷戦終結 (1991年) - 湾岸戦争 (1990-1991年) - EU成立 (マーストリヒト条約、1993年) - インターネット普及 (1990年代〜) - 9.11米国同時多発テロ (2001年)	1980 1980年代：草間の芸術活動は 徐々に再評価され、再び国際舞 台に注目され始める。	1980 1980-1984年：ジャン＝ミッシェ ル・パスキアやキース・ヘリン グと交流。パスキアとの共作多 数。	1979 56歳、ニューヨークのサウサン プトン大学より名誉美術博士号 を授与される。	1982 24歳、トニー・ジャフラジ・ギャ ラリーで本格的な個展。(ギャラ リーデビュー) 1982年から1989 年の間に、世界の数十の都市で 50を超える公共芸術作品を制作 し、その多くは慈善団体、病院、 児童デイケアセンター、孤児院の ために制作された。	1977 45歳、ニューヨークのホイット ニー美術館で回顧展。アメリカ、 ヨーロッパ各地、日本を巡回す る。
	1983 54歳、『クリストファー男娼童』 で第十回野間現代新文学賞を受 賞。	1986 「最後の晩餐」シリーズを イタリアで発表。	1980 1980-1984年：ジャン＝ミッシェ ル・パスキアやキース・ヘリン グと交流。パスキアとの共作多 数。	1983 25歳、初来日。ホイットニー・バ イエンナーレに出展。	1978 46歳、巡回回顧展のため、来日。
	1987 58歳、北九州市美術館で国内初 の回顧展を開催。	1989 「最後の晩餐」シリーズを イタリアで発表。	1986 57歳、彫刻やキャンバスに表現主 義的な頭部像を多数制作。風景 画では表現主義に触発された裸 像を制作。リンゴなどの果物を 漫画風の筆致で描いた静物画に も再び取り組む。	1984 26歳、ヴェネチア・ビエンナー レに出展。オーストラリア、ブラ ジルなど世界各地で壁画制作を 開始。パラダイス・ガラージにて 個展を開催。	1980 50歳、ニューヨークのホイット ニー美術館は『Three flags (1958)』を100万ドルで落札。こ れは存命の芸術家の作品として は当時最高額だった。作品には宗 教的・歴史的絵画の断片や自伝 的要素が増え、記憶・認識・性愛・ 死への言及など、内省的・象徴 的なテーマが浮上する。
2010年代 【分断とポピュリズムの時代】 - アラブの春 (2011年) - クリミア併合 (2014年) - バリ同時多発テロ (2015年) - 難民危機 (2015年〜) - トランプ大統領就任 (2017年) - 香港民主化デモ (2019年)	1989 ニュー・ヨーク国際現代美術セン ター(CICA)で大回顧展を開催。	1987 胆嚢手術後の合併症により 死去(2月22日)。 享年58。	1982 ミッキー・ボバビ、ウィンビー (ツイト) がサウサンプトンの バリッシュ美術館で初めて展示 された。	1985 27歳、バリ・ビエンナーレに出展。 レオ・カステリ画廊にて個展 を開催。	1987 57歳、『The Seasons』 シリーズを制作。
	1993 64歳、ヴェネツィア・ビエンナー レで日本館代表として初個展を 開催。	1989 死後：MoMA (ニューヨーク近代美術館) で 大回顧展開催。	1983 ピーターズバーグ出版社が木版 画の『セブン・アップルズ』シ リーズを出版。	1988 28歳、ヴェネチア・ビエンナー レに出展。オーストラリア、ブラ ジルなど世界各地で壁画制作を 開始。パラダイス・ガラージにて 個展を開催。	1988 58歳、第43回ベネチア・ビエン ナーレでアメリカ代表として個 展が行われ、金獅子賞(グランプリ)を受賞。世界的評価が高まる。
	1994 65歳、ベネッセアートハウス直 島に《南瓜》を展示。野外彫刻の 制作をスタートする。	1989 死後：MoMA (ニューヨーク近代美術館) で 大回顧展開催。	1984 65歳、彫刻やキャンバスに表現主 義的な頭部像を多数制作。風景 画では表現主義に触発された裸 像を制作。リンゴなどの果物を 漫画風の筆致で描いた静物画に も再び取り組む。	1985 27歳、バリ・ビエンナーレに出展。 レオ・カステリ画廊にて個展 を開催。	1990 60歳、アメリカ政府より国家芸 術勲章 (National Medal of Arts) を 受章。
2020年代 【パンデミックとAI革命】 - 新型コロナウイルス流行 (2020〜) - 東京オリンピック(2020〜) - ロシアのウクライナ侵攻 (2022) - ChatGPT・AIブーム (2022〜) - 中東・イスラエルと ガザの戦争 (2023〜)	1996 67歳、マットレスファクトリー (アメリカ、ピッツバーグ)で初の インスタレーション《氷玉強迫》 を出品。	1986 「最後の晩餐」シリーズを イタリアで発表。	1986 キャンパスの端から端まで続く 一本の線の特徴とする。一般的 な幾何学的抽象構図を特徴とし る「不完全な絵画」を制作。	1988 28歳、6月にマンハッタンSOHO に自身の「ポップ・ショップ」を 開店し、自作のグッズを廉価で販 売することで「アートを日常に届 ける」実験を行った。アンディ ウォーホルなどから強力な支援 を受ける。	1993 68歳、ニューヨークのメトロポリ タン美術館が『White flag (1955)』 を購入し、収蔵作品となる。
	1998 69歳、MoMA(ニューヨーク近代 美術館)で回顧展『Love Forever: 1958-1968』開催	1989 胆嚢手術後の合併症により 死去(2月22日)。 享年58。	1987 ミッキー・ボバビ、ウィンビー (ツイト) がサウサンプトンの バリッシュ美術館で初めて展示 された。	1989 27歳、バリ・ビエンナーレに出展。 レオ・カステリ画廊にて個展 を開催。	1996 66歳、ニューヨーク近代美術館 (MoMA) で大規模な回顧展が 開催され、過去数十年の代表作が 一挙に公開される。
	2000 71歳、第50回芸術選奨文部大臣 賞(文化庁)受賞。外務大臣賞受賞。	1994 ピッツバーグに 「アンディ・ウォーホル 美術館」開館。	1988 65歳オハイオ州立大学 (コロン バス校) より人文科学の名誉博 士号を授与	1990 26歳、ヴェネチア・ビエンナー レに出展。オーストラリア、ブラ ジルなど世界各地で壁画制作を 開始。パラダイス・ガラージにて 個展を開催。	1998 68歳、ニューヨークのメトロポリ タン美術館が『White flag (1955)』 を購入し、収蔵作品となる。
2020年代 【パンデミックとAI革命】 - 新型コロナウイルス流行 (2020〜) - 東京オリンピック(2020〜) - ロシアのウクライナ侵攻 (2022) - ChatGPT・AIブーム (2022〜) - 中東・イスラエルと ガザの戦争 (2023〜)	2001 72歳、第71回朝日賞(朝日新聞文 化財団)受賞。	1994 ピッツバーグに 「アンディ・ウォーホル 美術館」開館。	1989 69歳、スペイン・バルセロナ市 から依頼を受け、バルセロナオリ ンピックのモニュメント《バルセ ロナ・ヘッド》を制作。	1991 29歳、ニューヨーク「アート・ア ゲインスト・エイズ」に出展。多 摩市の複合文化施設「バルテ ン多摩」にて約500人の子供達と 壁画を制作。	2006 76歳、『False Start (1959)』が競 売で8000万ドル超の高値を記録し、 生存作家の絵画では当時最高額 となった。
	2003 74歳、フランス芸術文化勲章オ フィシエを受勲。長野県知事表彰 (学術芸術文化功労)受賞。	2010 〜回顧展 (Whitney 2018年など) や高値落札続く。 ダイアリーはNetflixで ドラマ化	1992 70歳、ニューヨークのグッゲン ハイム美術館で大規模回顧展 を開催。(生前最後)	1993 70歳、ニューヨークのグッゲン ハイム美術館で大規模回顧展 を開催。(生前最後)	2010 80歳、『Flag (1958)』がニュー ヨークで約1億1000万ドルで落 札され、生存作家作品として当時 最高額となった。
	2006 77歳、ライフタイムアチーブメン ト賞(芸術部門)受賞。旭日小紋 章受賞。第18回高松宮下殿下 記念世界文化賞(絵画部門)受賞。	2010 〜回顧展 (Whitney 2018年など) や高値落札続く。 ダイアリーはNetflixで ドラマ化	1994 71歳、東京・新宿アイランド内に 《Tokyo Brushstroke Land II》を制 作。国内で初の大規模パブリック アート作品。	1995 72歳、クリントン大統領より国 家芸術勲章を授与され、また日本 の京都賞(思想・芸術部門)を受 賞。	2017 87歳、ロンドンのロイヤル・アカ デミー・オブ・アーツで、6〜 7世代にわたる代表作150点以上 を収めた大規模回顧展 「Something Resembling Truth」 を開催。展示はジャスパー・ジョ ーンズの40年ぶりの英国回顧展 となり、その画期的な60年のキ ャリアの連続性と変遷を明らかに した。
2020年代 【パンデミックとAI革命】 - 新型コロナウイルス流行 (2020〜) - 東京オリンピック(2020〜) - ロシアのウクライナ侵攻 (2022) - ChatGPT・AIブーム (2022〜) - 中東・イスラエルと ガザの戦争 (2023〜)	2009 80歳、auブランド「Iida」の携帯電 話をプロデュースする。	2010 〜回顧展 (Whitney 2018年など) や高値落札続く。 ダイアリーはNetflixで ドラマ化	1997 マンハッタン のニューヨーク 大学メディカル センターで肺炎 の合併症により 突然死去。享年 73。	1998 30歳、日本の東京・青山にポ ップ・ショップを開店。海外進 出を果たす。エイズと診断。	2018 88歳、ロサンゼルス のブロード 美術館で大規模 回顧展 「Something Resembling Truth」の 巡回版を実施。
	2012 83歳、ルイ・ヴィトンとのコラボ レーション・ファッショ ンコレクション を発表。	2010 〜回顧展 (Whitney 2018年など) や高値落札続く。 ダイアリーはNetflixで ドラマ化	1999 マンハッタン のニューヨーク 大学メディカル センターで肺炎 の合併症により 突然死去。享年 73。	1999 31歳、 キース・ヘリング財団を設立	2021 91歳、ニューヨークのホイット ニー美術館とフィラデルフィア 美術館で、2会場 で構成された大規模 展覧会「Mind/Mirror」を 同時開催。両館が所蔵するジョ ーンズ作品と未公開作を 織り交ぜ、初期から現在までを網 羅的に紹介した。
	2016 87歳、『I TIME』誌の世界で最も 影響力がある100人に選ばれる。	2017 88歳、東京で草間彌生美術館が 開館。初公開の新作ミラ ールームを展示。	2000 71歳、第50回芸術選奨文部大臣 賞(文化庁)受賞。外務大臣賞受賞。	2006 76歳、『False Start (1959)』が競 売で8000万ドル超の高値を記録し、 生存作家の絵画では当時最高額 となった。	2023 93歳、国内外の美術館でジョ ーンズ作品の所蔵・展示が続き、 アーティストの創作活動は旺盛。 肖像画や印刷物の新作を発表し ながら、展覧会や研究出版も盛ん に行われている。